

福島民友 2012 4月12日

(木)

自校給食も毎日検査

郡山の小中学校 簡易測定器配置へ

郡山市は夏休み明けから、自校給食をしている全市立小中学校64校に、食品に含まれる放射性セシウムを測定する放射性物質測定機器を配備、市内全ての中学校の給食を毎日検査する体制を整える。11日の市議会臨時会で測定器の整備費2億7737万円を盛り込んだ4億7505万円の一般会計補正予算案を可決した。

配置するのは簡易型の機器で、出来上がった給食を測定するほか、食材を調理する数日前に計測、基準値を超えた食材は産地を変更するなどの措置を取る。

市は現在、市内の2給食センターに一台ずつ測定機器を配置、センターを利用している中学校の給食は毎日計測していくが、自校給食の小中学校については両センターの測定機器を使い、各校週一回の測定にとどまっていた。

補正予算はこのほか、中学生以下の子どもにバッジ型個人線量計を整備する事

作業に使用する車両の整備事業に3363万円。

同日は、市役所本庁舎改修事業の工事請負契約に関する議案と、議員により追加提案された「東北地方の高速道路無料開放の復活を求める意見書」も可決した。